

令和元年度第2回会議議事要旨
(令和2年3月2日開催)

令和2年6月

南 城 市

1. 報告事項(第1回議事要旨、Nバス及びおでかけなんじいの利用状況)について

番号	委員	事務局
1-1	おでかけなんじいの予約の断りが60%と減ったという説明があったが、具体的に何件から何件に減少したのか。(神谷委員)	再編前の69件/月から再編後は28件/月に減少している。
1-2	次回以降の会議に向けて、幹線バスについても利用状況を把握してほしい。(三宅委員)	市民アンケートで利用状況を把握する(資料④、P4~5参照) 定量的な利用状況の把握については、バス事業者と調整する。
1-3	Nバスの運行回数も資料に記載してもらえるとわかりやすい。おでかけなんじいは2.0人/台を下回っている時間帯もあるが、2台から1台への減便は検討しないのか。各市町村財政出動が厳しいこともあり、質問した。(慶田委員)	お手元に配布しているマップの左側に運行回数を記載しているが、次回会議には資料に運行回数を整理する(資料③、P2参照)。予備車の確保といった法律上の問題もあり、最低2台で運行している。
1-4	Nバスの回数券は市役所の販売所で扱っているが、販売所以外での販売について要望は寄せられているか。(名嘉山委員)	要望は受けているが、回数券の収入を沖縄バスの収入として扱っているので調整させてほしい。市の収入にすると条例等の手続きが必要となる。

2. 1日乗車券について

番号	委員	事務局
2-1	これまでのNバスの利用状況から複数回利用している方がいるとのデータを受けての今回の1日乗車券の提案となっているのか。(喜屋武委員)	案内所のアテンドの情報になるが、何力所か回る観光客もいる、市の観光部局からも要望があった。利用状況については来年度のアンケート(資料④、P6~7参照)で把握する。
2-2	周知方法はどのようなものをイメージしているか。(神谷委員)	現在は、Nバス専用ホームページが中心になるが、地道にアテンドなども活用して進めていきたい。
2-3	Nバスを使ってのおすすめのルートのようなものを設定すると利用しやすくなると思う。(神谷委員)	観光部局と連携して検討をすすめる
2-4	観光客にはバス車内で1日乗車券を販売するのか。(小谷委員)	回数券同様に沖縄バスの販売所での販売を考えている。可能であればがんじゅう駅・南城や斎場御嶽でも販売したいと考えている。
2-5	券のデザインはイメージできているのか。一度利用するとそれ以後は利用できなくなることを確認できるか。(普久原委員)	デザインの検討を進めている。日付を乗車券に大きく表示するようにしている。回収は考えておらず、記念になるように持ち帰りできるようにしたい。(資料④、P2参照)
2-6	県外からの観光客以外の市外の人でも1日乗車券を購入できるのか。(普久原委員)	誰でも購入できる。
2-7	路線バスとNバスが重複する区間があるので、路線バスは利用できない旨の周知をお願いしたい。(普久原委員)	7月に発行を予定している公共交通だよりに記載する。

3. 無料期間の設定について

番号	委員	事務局
3-1	Nバスの運行開始時は、無料で多くの人 が利用することで遅れが生じ、大きな支障 があった。混雑が想定されることから、無 料運行に向けたダイヤの見直しを行うの か。(慶田委員)	Nバス運行当初は、ダイヤそのものに問題 があり11月に見直しを行った。無料にし ても今のダイヤでは大きな問題はないと考 えている。誰でも無料ではなく、新入生と 保護者など対象を絞ることも考えている。
3-2	対象を絞るのであれば、広報をしっかり してほしい。(慶田委員)	実施前に、Nバス車内やNバスの主要バス 停、市ホームページ等で周知する。
3-3	トータルで3週間、それとも各シーズ ンで3週間無料期間を設けるのか。(小 谷委員)	最大で3週間と考えている。入学シーズ ンは長めに、周年記念は2、3日くらいを 想定している。
3-4	無料の対象を特定の乗客に絞ると、特定 の旅客について不当な取り扱いを行わな いという法規制があるため、持ち帰って検 討したい。(小谷委員)	
3-5	夏休みも無料期間にするとのことであ るが、観光客が無料期間に利用すると1 日乗車券とバッティングするのではない か。無料期間を設けることで、1日乗車 券の販売機会がなくなる点が気になる。 (森田委員)	ターゲットを絞れるかについて確認しな がら、利用促進策を検討していきたい。
3-6	ゴールデンウィーク1,000円のフリー 乗車券があり、那覇市内から北部は利用 が多く、乗車できない利用者もいること から、無料期間は予備車も準備してほし い。(喜屋武委員)	必要に応じて増便等の対応を検討する。
3-7	可能であれば、新入生にNバス、路線 バスの個別のTFPができないか。利用 できるバスがあるのであれば、バスの使 い方を示すことで利用してほしい。(神 谷委員)	網計画の施策であるモビリティ・マネ ジメントの一環として検討したい。
3-8	無料時にも人数の把握を行うのか。運 行経費の負担はどのように行うのか。運 賃収入で運行経費を補填しているのか。 (小谷委員)	運賃収入から経費を差し引いた金額を 委託費としている。無料期間が長くな ると市の負担が大きくなる。
3-9	無料ということだが、1回100円でも とれないか。ただというのはどうか思 う。(慶田委員)	インパクトがあって、バスを利用しな い人にも利用してもらうには投資が必 要と考えている。